2020年８月７日

各　位

会　社　名　ユニフォームネクスト株式会社
代表者名　代表取締役社長　横井康孝
（コード番号　3566　東証マザーズ）
問合せ先　執行役員管理部長　吉川貴之
（TEL. 0776-43-1034）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時	2020年８月７日（金）10：00～11：00
開催方法	オンライン配信による開催
開催場所	福井県福井市八重巻町25号81番地
説明会資料名	2020年12月期第２四半期決算説明資料

【添付資料】

・投資説明会において使用した資料

以　上



ユニフォームネクスト株式会社（3566）
2020年12月期 第2四半期　決算説明資料

事業実績

20/12期2Q　ハイライト

業績概況	・売上高2,427百万円（前年同四半期比0.5%増）営業利益106百万円（同42.0%減） 経常利益117百万円（同36.8%減） ▶売上は堅調に推移。期初は記録的暖冬による防寒商品の販売低迷、3～5月は飲食店ユニフォームを中心に新型コロナウイルス感染症によるイベント中止、自粛の影響を受け伸び悩む。5月GW明けからの気温上昇に伴い、空調服を中心とした季節商材の販売増が売上の伸びに寄与。 ▶経常利益は前年比36.8%減。新受発注システム導入等による減価償却費の増加、人員増員による人件費の増加等のよる減少は織り込み済み。ほか、新受発注システムリリース後の想定以上のSEO順位低下を穴埋めするための広告費投入（SEO順位低下はリリース後約3ヶ月の影響と予測）、3～5月の売上低迷が追加要因。 ・特別利益70百万円（市からの社屋建設助成金）　特別損失△68百万円（固定資産圧縮損）
部門別内訳	・サービス部門　売上高1,057百万円（同11.6%減） ・オフィスワーク部門　売上高1,231百万円（同18.5%増）
トピックス	・新受発注システムリリース（2月末）。6月末で約10%の業務効率化、余剰分は接客対応の強化へ ・メーカー新商品「スーツ型作業服」の販売好調、自社限定モデルを今秋に発売予定 ・社内リソース配分の変更（飲食店ユニフォームから医療ユニフォーム・作業服へ） ・訪問営業の県外エリアへの進出開始、ZOOMを活用

新型コロナウイルスの影響

事業への影響	・飲食店ユニフォームを中心に、営業自粛・イベント中止の影響あり。 今後の感染拡大状況により、営業自粛が再開となる場合は同様の影響を受ける可能性あり。 ・作業服、医療ユニフォームの販売への影響は軽微。 ・外出自粛の影響で従来実店舗等で購入していたユーザーがEC利用に流れ、CV数増加に寄与。 ・海外生産商品の納期については一部品番で若干の遅延が発生、全体として大きな影響はなし。
当社内の対応状況	・従業員の安全に配慮し、在宅勤務環境、ルールを整備。 物流、加工部門以外は在宅勤務を実施済（テスト含む）。在宅勤務時の生産性への大きな影響はなし。 ・商談、訪問のオンライン化。

業績概要

単位：百万円

	19/12期 2Q	20/12期 2Q	前年比	通期予想	進捗率
売上	2,414	2,427	100.5％	―	―
売上総利益	910	909	99.9％	―	―
対売上比	37.7％	37.5％	-0.2％	―	―
販売管理費	726	802	110.5％	―	―
対売上比	30.1％	33.1％	3.0％	―	―
営業利益	183	106	58.0％	―	―
対売上比	7.6％	4.4％	△3.2％	―	―
経常利益	185	117	63.2％	―	―

業績概要（四半期）

単位：百万円

	19/12期				20/12期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上	983	1,431	1,117	1,183	899	1,527
売上総利益	369	540	418	455	326	583
対売上比	37.6％	37.8％	37.4％	38.5％	36.3％	38.2％
販売管理費	330	396	370	325	358	444
対売上比	33.6％	27.7％	33.1％	27.5％	39.9％	29.1％
営業利益	39	144	48	129	△32	138
対売上比	4.0％	10.1％	4.3％	10.9％	△3.6％	9.1％

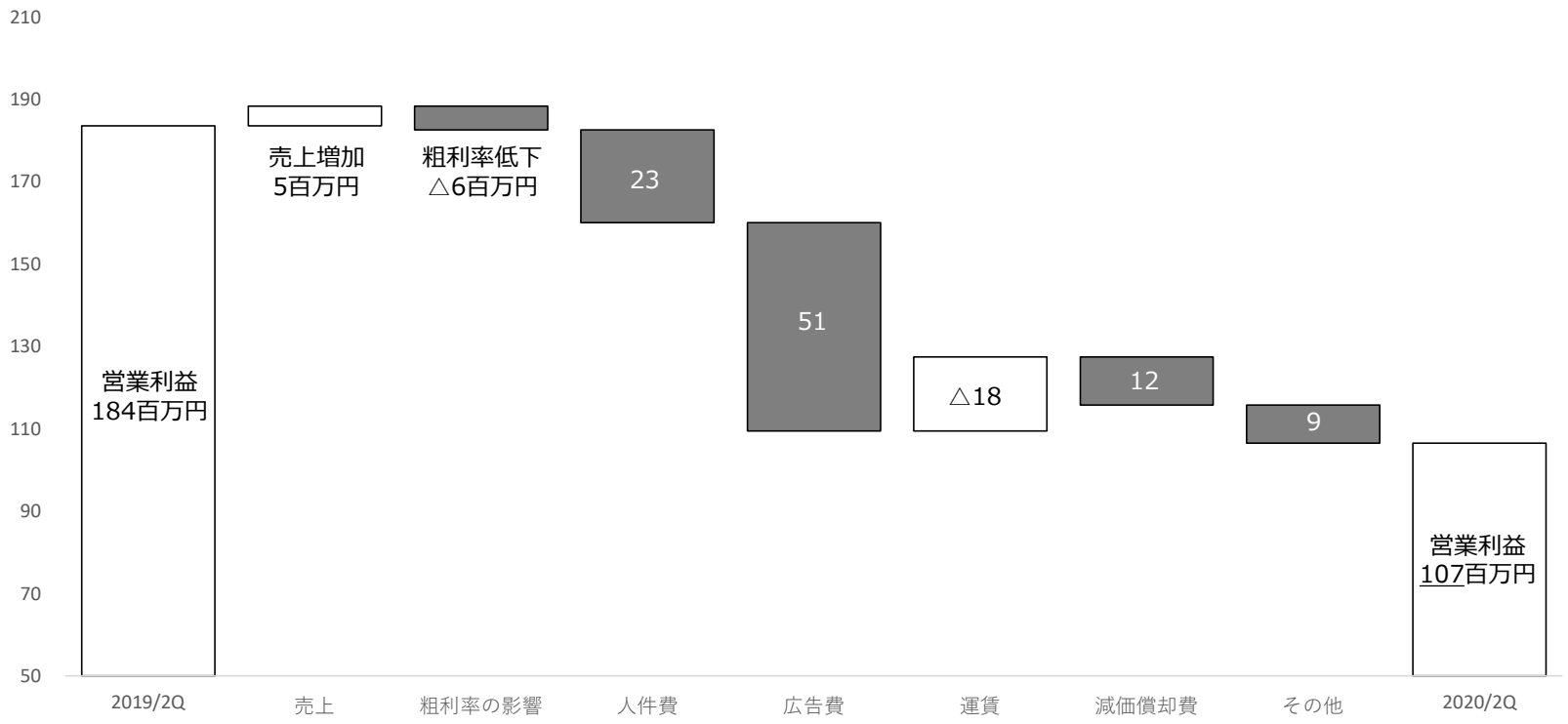
財政状態

単位：百万円

	19/12期末	20/12　2Q末		19/12期末	20/12　2Q末
流動資産	1,862	2,157	流動負債	853	1,040
現預金	1,411	1,363	電子記録債務	229	222
商品	299	377	買掛金	148	385
固定資産	1,278	1,175	固定負債	245	191
有形	1,108	1,019	長期借入金	228	175
無形	127	117	純資産	2,041	2,100
資産合計	3,140	3,332	負債純資産合計	3,140	3,332

営業利益の増減分析

単位：百万円



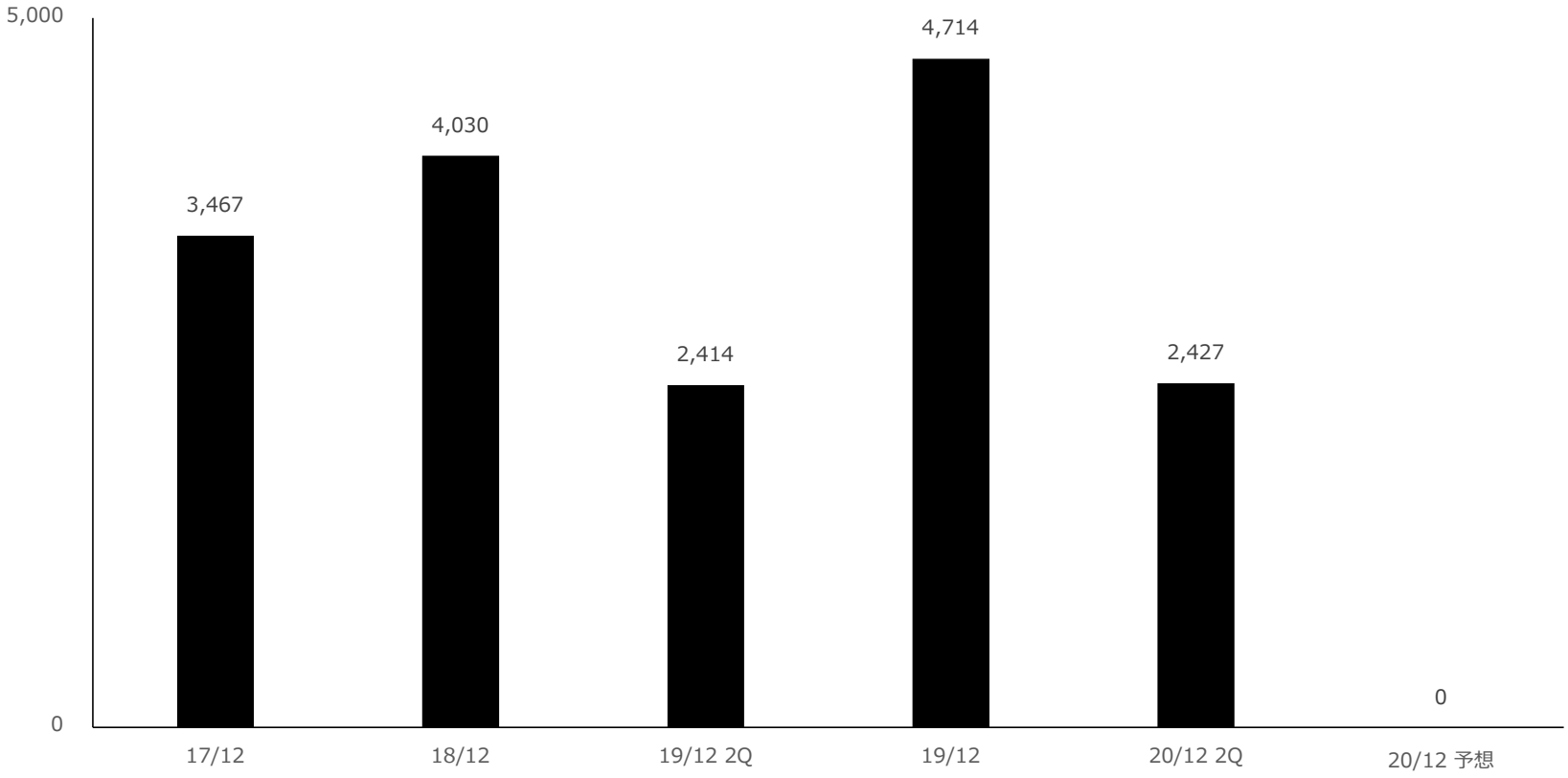
キャッシュ・フローの推移

単位：百万円

	19/12期 2Q	20/12期 2Q	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	294	60	税引前利益　減益：△66 売上債権の増加：△101 未払消費税等の増減：△82
投資活動による キャッシュ・フロー	△110	△31	設備投資規模縮小
財務活動による キャッシュ・フロー	△77	△77	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,398	1,363	

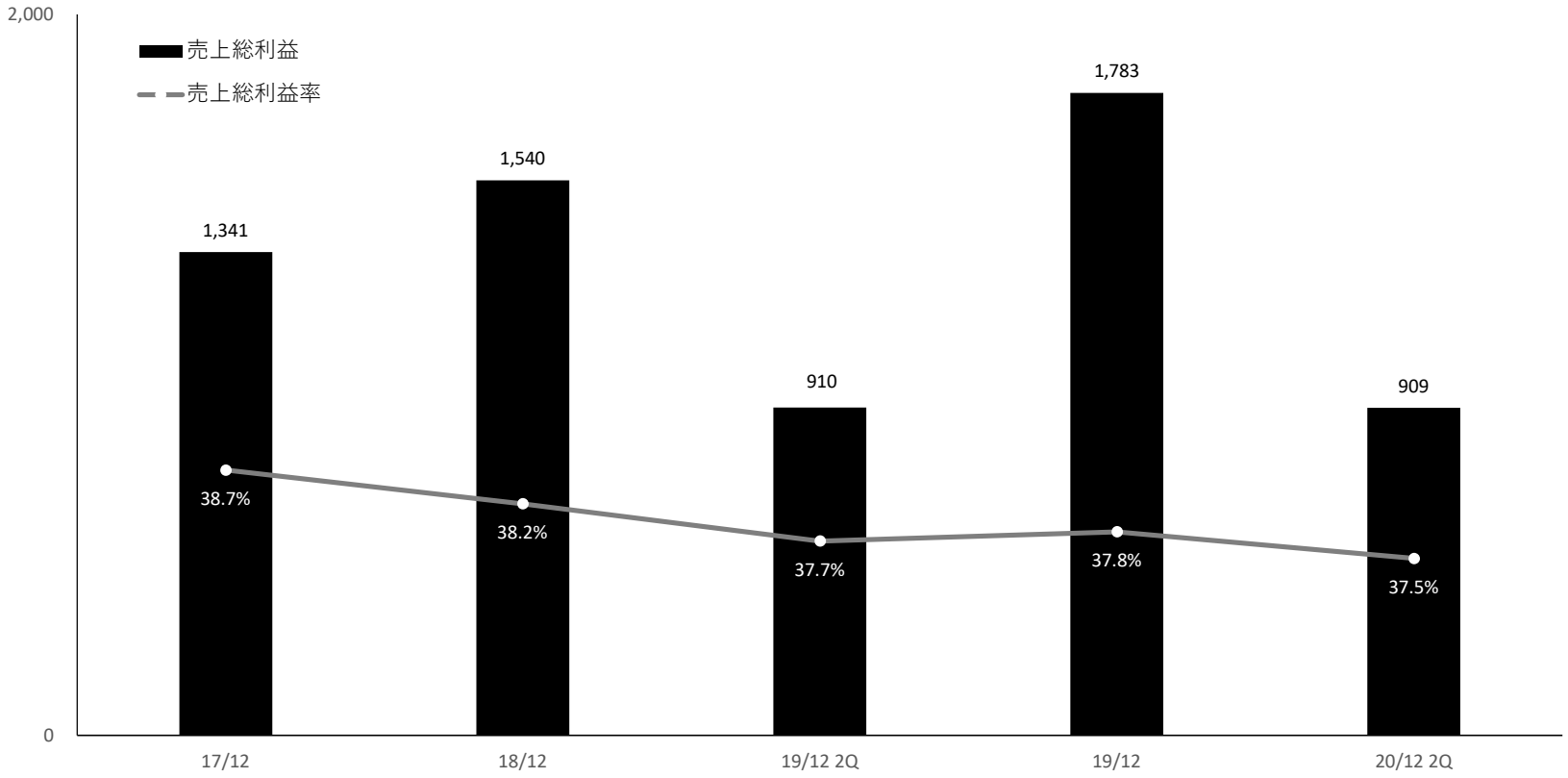
売上高の推移

単位：百万円



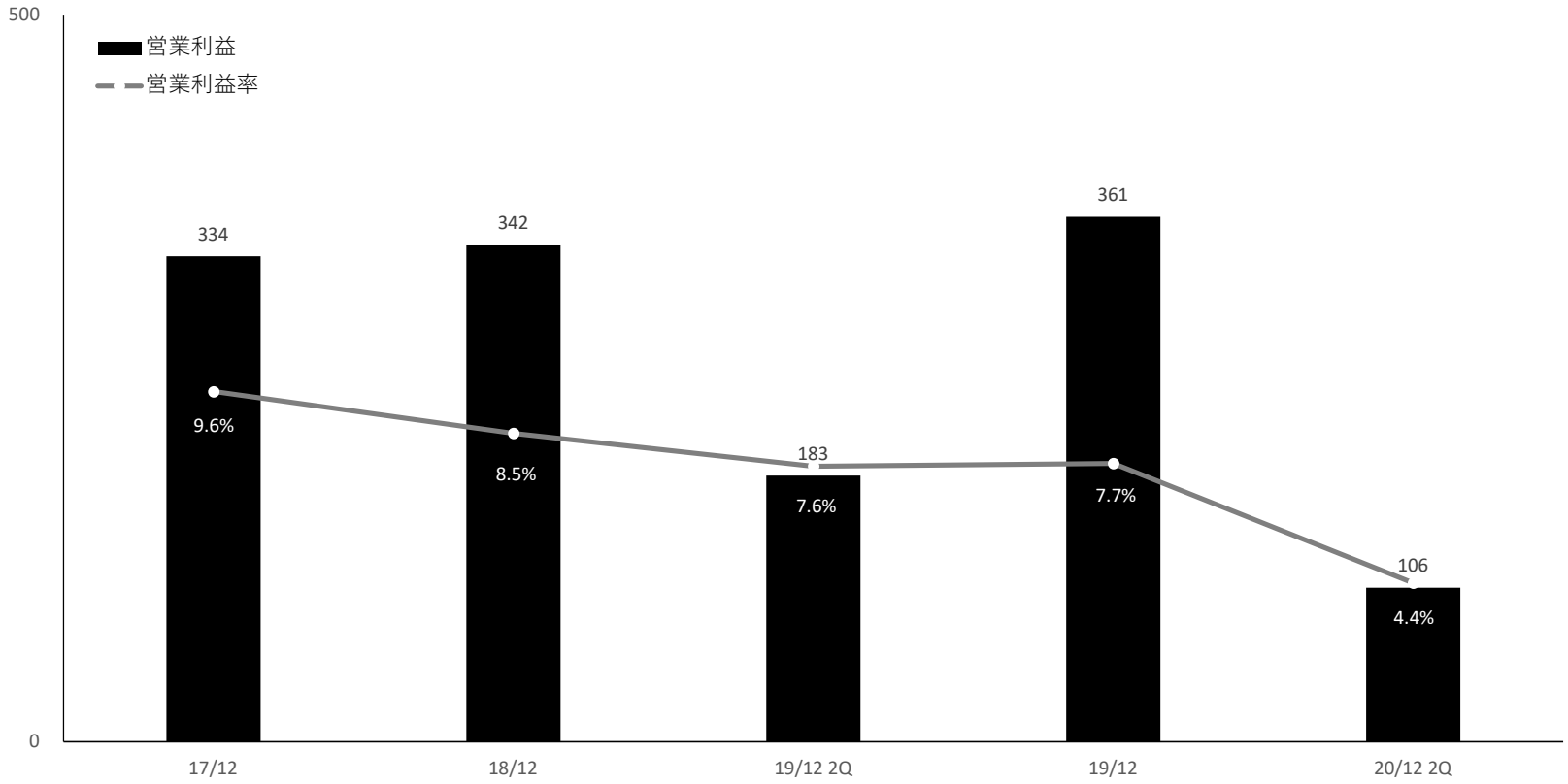
売上総利益・売上総利益率の推移

単位：百万円

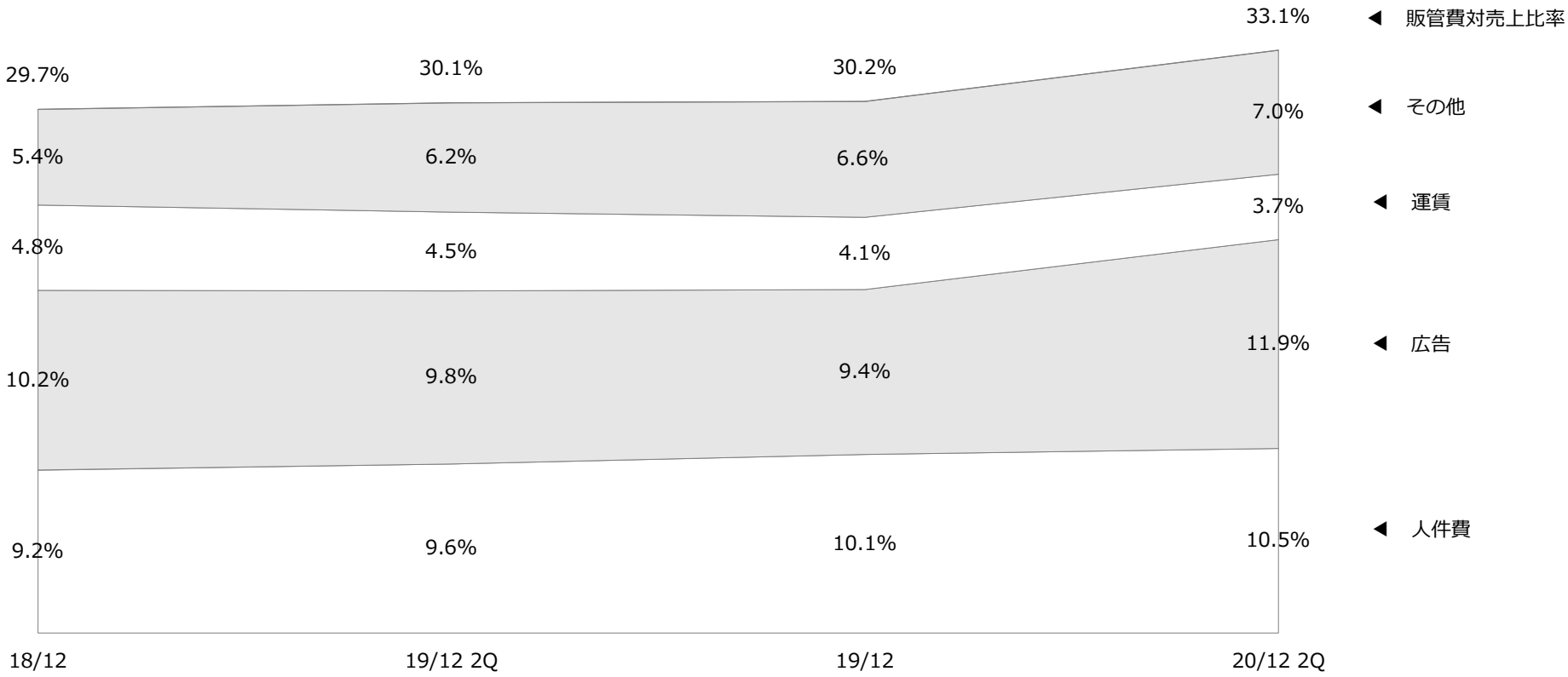


営業利益・営業利益率の推移

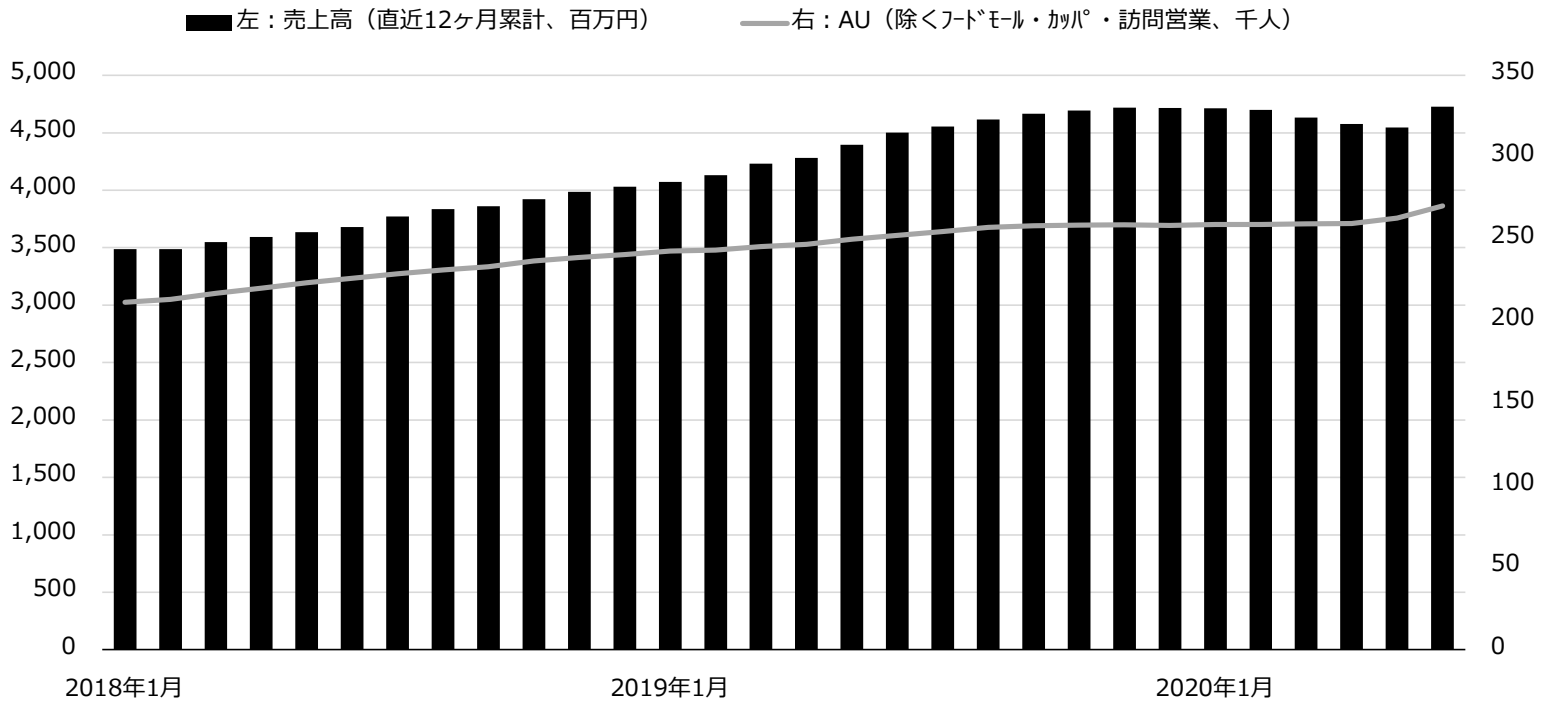
単位：百万円



販管費の推移


33.1%
販管費対売上比率
29.7%
30.1%
30.2%
7.0%
その他
5.4%
6.2%
6.6%
3.7%
運賃
4.8%
4.5%
4.1%
11.9%
広告
10.2%
9.8%
9.4%
人件費
9.2%
9.6%
10.1%
10.5%
18/12
19/12 2Q
19/12
20/12 2Q

AU （フードモール、カッパを除く）と売上推移



※AU：直近2年間で１度以上注文いただいたお客様

2020年12月期　事業計画

20/12期　通期業績予想

	20/12期計画	成長率
売上高	―	―
営業利益	―	―
経常利益	―	―
当期純利益	―	―
１株当たり配当金（予定）	―	―

※先行きについて新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は不透明な状況が続いており、
現時点では合理的な業績予想の算定が困難となっております。
2020年２月７日に公表いたしました業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただいております。
今後、業績予想の算定が可能となった時点で、改めて公表いたします。

20/12期　事業計画　概略

※修正前の業績予想を元にした記載となります

売上高	未定　（※期初予算：5,524百万円　前年比17.2%増） ▶新社屋倉庫のスペースを活用し在庫拡充を積極化、欠品率の低下を図る ▶新受発注システム導入によるサイトの利便性改善及び業務効率向上 接客スタッフの事務負荷軽減により、集客増加とサービス品質向上を両立させる ▶上半期は消費税増税の反動、還元施策の影響が残る見込み
売上総利益	未定　（※期初予算：2,057百万円　前年比15.3%増） ▶プロダクトミックス変化と加工原価率上昇（労務費）により若干の粗利率低下を見込む
販売管理費	未定　（※期初予算：1,685百万円　前年比18.4%増） ▶人件費：システムエンジニアの増員により、人件費率上昇（10.14%➡10.52%） ▶減価償却費：新受発注システムのリリースにより、減価償却費率上昇（0.98%➡1.40%）
営業利益	未定　（※期初予算：371百万円　前年比2.7%増）
当期純利益	未定　（※期初予算：244百万円　前年比1.0%増）

20/12期　トピックス

販売施策	・WEB受注の増客　分業制、担当制の導入によるユーザー体験の向上 ・作業服、職種別提案の強化 ・集客コンテンツの拡充 ・訪問営業の強化
組織・システム	・エンジニアの増員によるシステムの内製化、改善スピードの向上 ・新受発注システムのリリース ・メーカー新商品「スーツ型作業服」の自社限定モデルを今秋に発売予定

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は皆様の参考に資するため、ユニフォームネクスト株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。